

(様式1)

平成30年度 学生の自主的活動プロジェクト企画書

| | | |
|-----|-------------|-------|
| 申請者 | 氏名 | 立石 彩夏 |
| | 学籍番号 | |
| | 学部・研究科名, 学年 | |

| | | |
|-------------------|---|----------|
| プロジェクトの名称 | 地域とつながる～本を通じた縁結びプロジェクト～ | 申請金額 |
| | | 175,290円 |
| プロジェクト団体名 | 島根大学図書館コンシェルジュ | |
| 目的・理由 | 図書館コンシェルジュはこれまで松江市立図書館において絵本の読み聞かせ等を行ってきた。また、島根県立大学短期学部学生図書委員会と合同で交流事業を行ってきた。今後も島根県立大学短期学部学生図書委員会と連携しながら、地域の人を交えた読書会等のワークショップを継続的にやりたいと考えている。そこで、図書館コンシェルジュの個々のメンバーが普段の活動を見直しながら、研修を通じてコンシェルジュ全体でスキルアップしつつ、地域との交流事業を推進することを目的とする。 | |
| 活動概要 | 地域との交流事業を行うにあたり、島根県立大学短期学部学生図書委員会と共同で次のような研修を行う。 ・一泊二日の研修合宿(ワークショップ運営に必要とされるチームビルディングの力、ファシリテーションスキル、プレゼンの仕方等の研修) 以上の研修をふまえ、島根県立大学短期学部学生図書委員会と共同で次のような地域との交流事業を行なう。 ・読書会 ・アクティブブックダイアログ(ABD) ・その他 | |
| 主な連携先 (予定を含む。) | 島根県立大学短期学部 学生図書委員会、島根県立図書館、松江市立図書館 | |
| 連携する内容 | ワークショップ、研修合宿 | |
| アドバイザー教員 | 所属部署 | 氏名 |
| | 附属図書館長 | 杉江 実郎 |
| 期待される効果 | ①地域の方々との交流により学生にはない視点からの意見を得ることで、普段の活動を見直し、より良くする機会となる。 ②これを機に本や図書館を通じて地域との交流を深め、その後定期的に読書会等のワークショップをおこなっていくことができるようになる。 ③今回のワークショップ、またコンシェルジュの活動で必要とされる、チームビルディング、ファシリテーション、プレゼンテーションのスキル等を磨くことができる。 | |
| 成果の公表方法 | しまね大交流会、学生協働交流シンポジウム、コンシェルジュ内での報告会、またコンシェルジュ公式のFacebookやTwitter、季刊誌LiMe、LiMeボードでの広報 | |

- ※ 1)これまでに関連する取組みや実績が紹介された記事など、参考となる資料があれば添付すること。
2)備品等はカタログ、見積書を添付すること。

| | |
|-----------|------|
| アドバイザー教員印 | 申請者印 |
| | |

地域とつながる
～本を通じた縁結びプロジェクト～

図書館コンシェルジュ
立石彩夏

目次

1. 企画の目的
2. 企画の概要
3. ABD研修
4. ABD会
5. まとめ
6. 今後の展望

1. 企画の目的

地域の方と本を通じた交流

コンシェルジュ活動の活性化

新しいことがしたい！

本をどう使って人をつなぐ？

誰と交流する？



ABDをしよう！！

(アクティブブックダイアログ)

ABD(アクティブブックダイアログ)とは？

どんな人でも短時間で読みたい本を読むことができる新しい読書の手法

- ① 1冊の本を分担して読んでまとめる
- ② 発表・共有化する
- ③ 対話で気づきを深める



能動的な気づきや学び
新たな関係性の構築

2. 企画の概要

ABD研修

- * 日時 平成30年11月3日(土)~4日(日)
- * 場所 島根県立青少年の家 (サン・レイク)
- * 対象 図書館コンシェルジュ4名
島根県立大学短期学部松江キャンパス 学生図書委員7名
- * 講師 荒川 長巳先生 (島根大学名誉教授)
- * 目的 ABDの手法を学ぶ

2. 企画の概要

ABD会

- * 日時 平成30年11月17日(土)
- * 場所 島根大学附属図書館ラーニングコモンズ1
- * 対象 図書館コンシェルジュ6名
島根県立大学短期学部松江キャンパス 学生図書委員4名
一般の方4名
- * 目的 地域の方とABDで交流する

3. ABD研修

1日目

コ・サマライズの
練習中

使用した本は
菅野仁『友だち幻想』



3. ABD研修

要約を共有し、みんなで
1冊の本を読む

発表タイムは2分厳守



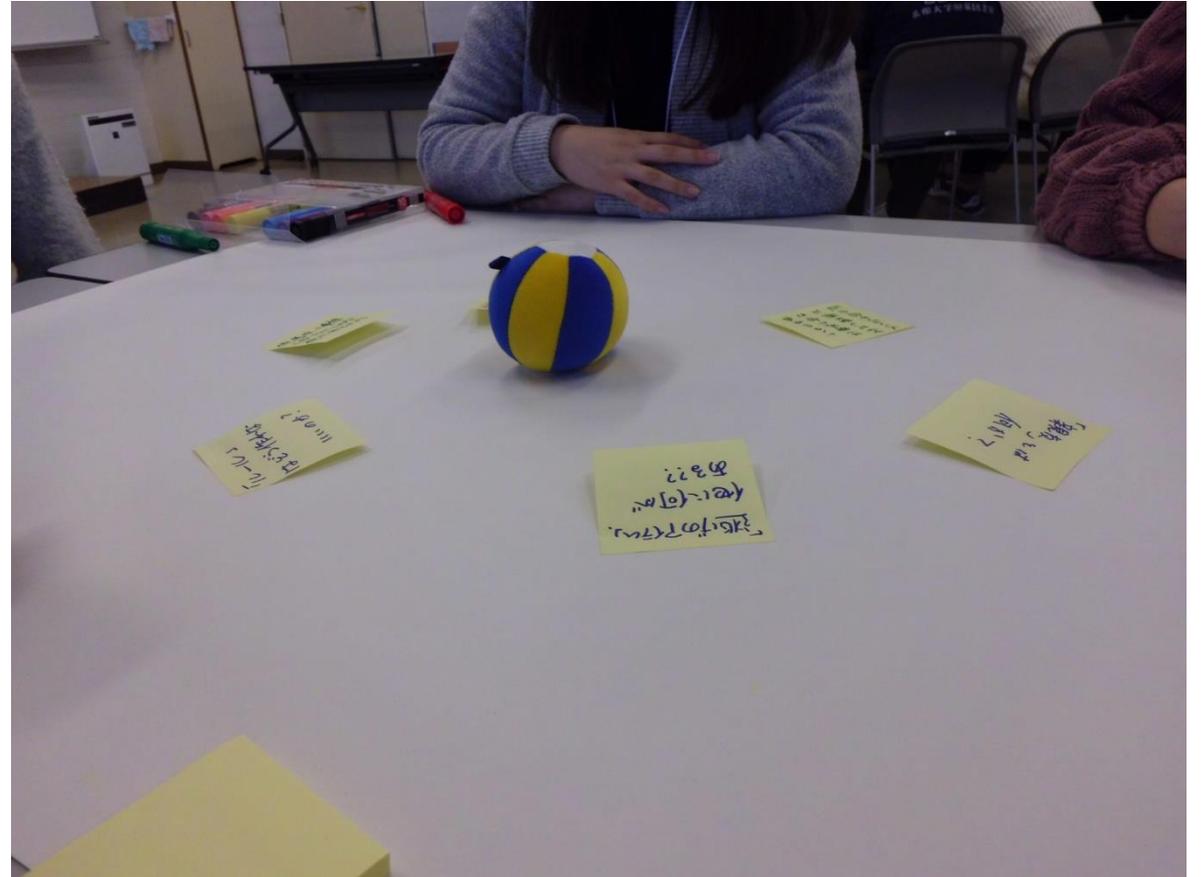
3. ABD研修

ABDのポイントは
この「ダイアログ」

みんなの問いを深掘り



能動的な気づき・学び



3. ABD研修

2日目

ファシリテーターを
2名選出



2グループそれぞれが
実施



使用した本は J.D.クランボルツ/A.S.レヴィン著
『その幸運は偶然ではないんです！』

3. ABD研修

アンケートの結果...

* 参加者全員が

「ABD研修に参加してよかった[とてもよかった]」
と答えた

* 島根県立大学の方から

「楽しかった」「自分たちも主催したい」
との声が

4. ABD会

総勢14名、3グループ

各テーブルで、

- * 一般の方
- * 島根県立大学の方
- * コンシェルジュ

が交流できるように配置



4. ABD会

使用した本は
岸見一郎/古賀史健 『嫌われる勇気』



4. ABD会

今回のダイアログでは
さまざまな立場からの
意見が...



4. ABD会

アンケートの結果...

- * 参加者全員が
「参加してよかった」
と回答
- * 初めて参加した方にも満足
していただけました
- * 「期待していた以上の内容」
との声も



5. まとめ

地域の方と本を通じて交流できた

コンシェルジュにとって良い刺激が得られた

想像以上に参加者の満足度が高かった

6. 今後の展望

地域の方との交流を継続的にする



例

ABDを広める

読み聞かせ

高校生や他大学との交流企画